

歴史サークル 9月の活動

9月12日（金）歴史サークルは「悠久のロマン・斎王に出逢う伊勢路」を訪ねての県外フォローアップ研修に参加しました。

コースは 斎宮歴史博物館・斎宮歴史街道を散策・いつきのみや交流センター・伊勢神宮（内宮）・おかげ横丁です。

斎宮の規模は、東西 2 km 南北 0.7 km 総面積 137ha 広さは（甲子園球場 35 個分）最盛期には約 500 人の人々が仕えていました。

斎王は、天皇が即位すると、皇族の女性の中から選ばれ、伊勢に派遣され、伊勢神宮に仕えることでした。

『日本書紀』の中では、垂仁天皇の時代に倭姫命という皇女が天照大神を奉じて伊勢の地に神宮を定めたということが記されていますが、古い時代の斎王については、伝承的な記録が多く、その実態はよくわかりません。実在した最古の斎王は、673年に就任し、泊瀬の斎宮を経て伊勢に入った天武天皇の娘、大来皇女です。その存在は、『万葉集』の歌や、飛鳥で出土した木簡などから裏付けられています。

この斎宮の制度は、7世紀後半の天武天皇により定められ、660年間続き14世紀の半ば、南北朝時代の動乱のうちにその姿を消しました。

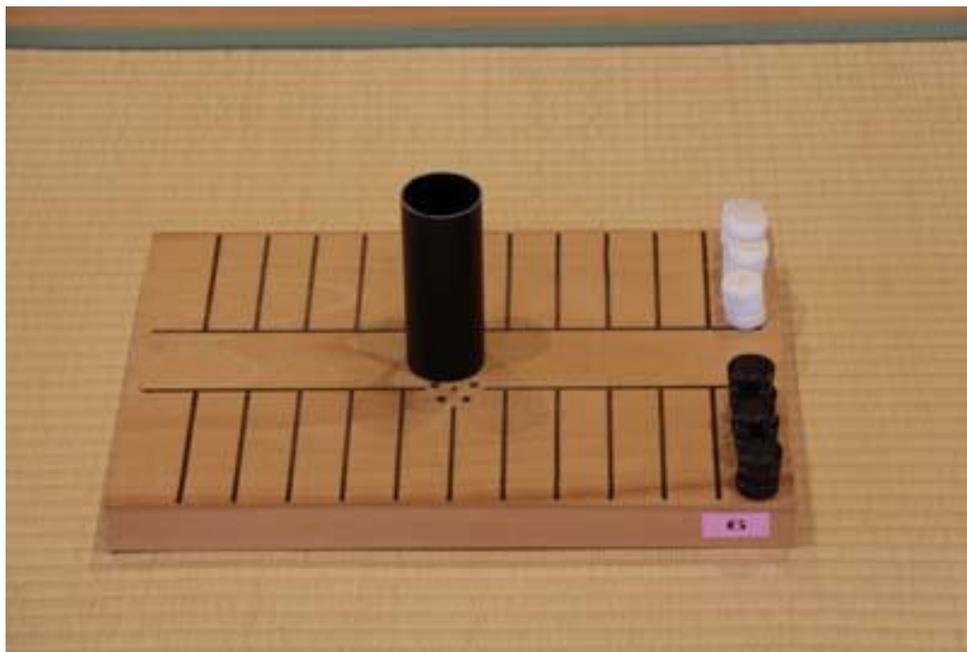




齋宮歴史博物館を見学しております。



史跡公園「齋宮平安の杜」を見学しています。
忠実に再現された平安時代の建築 正殿です 右は部屋の中です。
都や神宮からの遣いを出迎えた建物で齋王の御殿に次ぐ齋宮のシンボルです。





東脇殿 儀式の前に齋宮寮の役人が待機したり儀式の準備に使われいたと考えられる。



齋王の宮殿と齋宮寮を10分の1で再現しています。



伊勢神宮（内宮）にて